

[前編]外国につながるのある 発達障害の子どもたちとその家族への支援 —共生社会の形成をめざして—



高橋 脩

豊田市福祉事業団 理事長

【発行】

国立障害者リハビリテーションセンター 企画・情報部
発達障害情報・支援センター

本日の話題

1. 外国につながるのある子どもの現状
2. 外国につながるのある発達障がい児の現状
3. 外国につながるのある子どもの言語発達

注1:外国につながるのある子ども(外国つながり児)とは、両親または親の一方が外国人である親から生まれた子。以後、外国つながり児も併用

注2:発達障がいには知的発達症(知的障がい)を含む。自閉スペクトラム症はASD、
注意欠如多動症はADHDと表記

1. 外国につながる子どもの現状

在留外国人の現状

・ 在留外国人

	在留人口 (人)	総人口に 占める割合	年少在留人口 (人)	総年少人口に 占める割合
2015	206万2,907	1.61%	18万2,125	1.10%
2025	367万7,463	2.96%	29万9,614	2.14%
比較	161万4,556増	1.35%増	17万7,489増	1.04%増

*総務省(2025):住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和7年月1日現在).

- ・ 外国人割合:2.96% → 34人に1人は外国籍
- ・ 年少人口割合: 2.14% → 47人に1人は外国籍
- ・ 2024年との比較:
日本人人口:90万人減少
在留外国人約35万人増、年少人口約2万3千人増

在留外国人

- ・ 国籍：中国＞ベトナム＞韓国＞フィリピン＞ブラジル＞ネパール＞インドネシア＞ミャンマー＞台湾＞米国＞…

＊出入国在留管理庁：2024年6月末現在における在留外国人数について。

- ・ 在留資格：永住＞技能実習＞技術・人文知識・国際業務＞留学＞家族滞在

＊出入国在留管理庁：2024年6月末現在における在留外国人数について。

- ・ 都道府県別：東京＞大阪＞愛知＞神奈川＞埼玉＞千葉＞兵庫＞静岡＞福岡＞茨城＞…全都道府県で増加

＊総務省(2025)：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和7年月1日現在)。

→ 多国籍化、定住化、散在化、本格的移民政策が必要な時期

出生児

- 2023年父母の国籍別出生数

出生児 総人数	父日本人 母日本人 (%)	父母一方 外国人 (%)	父母とも 外国人 (%)	外国ルーツ 出生児 (%)
747,002	712,168 (95.34)	15,120 (2.02)	19,714 (2.64)	34,834 (4.66)

* 国立社会保障・人口問題研究所(2025):人口統計資料集.

- 外国につながるのある出生児:4.66% → 約20人に1人

- 参考:2024年出生児

出生児総人数	日本人(日本国籍者)(%)	外国人(%)
710,427	687,689(96.80)	22,738(3.20)

*総務省(2025):住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数(令和7年月1日現在).

2. 外国につながるのある発達障がい児の現状

小中学校で日本語指導が必要な 児童生徒に占める特別支援学級在籍児

国籍	児童生徒 (人)	特別支援 学級在籍 児(人)	特別支援 学級在籍 率(%)	2021年 調査(%)	2023年度 支援学級 在籍率(%)
外国籍	52,037	2,817	5.41	5.14	4.18
日本国籍	10,673	665	6.23	11.27	4.18
全国籍	62,710	3,482	5.55	5.62	4.18

*文部科学省:令和3年度及び令和5年度日本語指導が必要な児童生徒の受入状況等に関する調査結果について.

- ・日本語指導が必要な外国につながるのある児童生徒 → 言語や学習の遅れが環境によるものか、発達の障がいによるものか迷う(先生)

注1:外国籍データは、公立小中学校及び義務教育学校の対象児に限定して高橋がまとめた。

注2:2023年度特別支援学級在籍率は、公立小中学校、義務教育学校の学級編成方式別児童生徒総数に占める率(文科省の2023年度学校基本調査による)。

外国つながり児と日本人児童の初診比較(1)

- 対象児: 2022年1月1日～12月31日に、豊田市こども発達センターのぞみ診療所 児童精神科で初診を受けた豊田市在住の児童
- 受診率: 外国つながり児は児童総数の0.9%、日本人児童は0.5%。
外国つながり児が日本人児童よりも高い確率($p < .01$)で診療所児童精神科を受診。

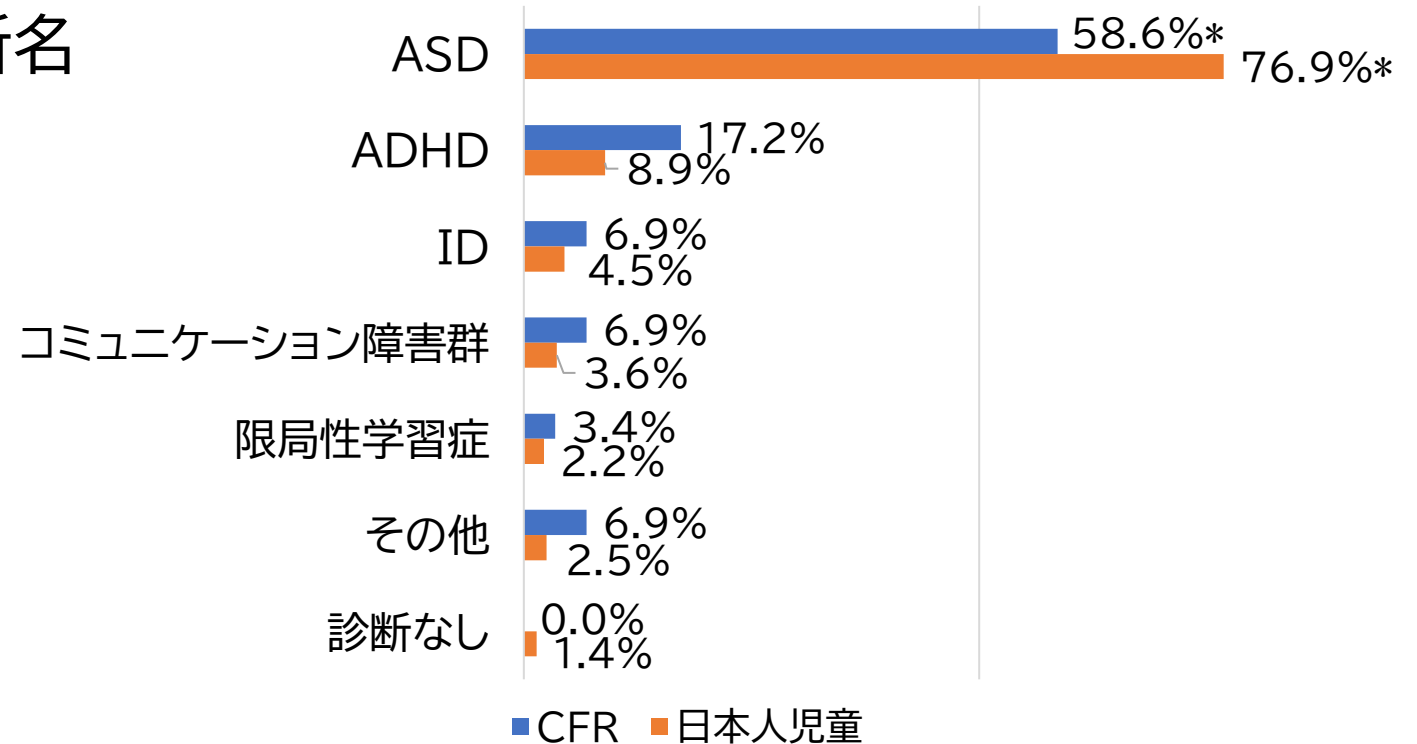
年齢	外国つながり児		日本人児童	
	人数	%	人数	%
2～5歳	17	58.6	257	71.6
6～11 歳	12	41.4	90	25.1
12 歳以上	0	0.0	12	3.3

- 受診年齢: 有意差はなかったが、外国つながり児は日本人児童に比べて受診年齢が遅い傾向。

*久保美恵子他: 日本の療育センター児童精神科における外国にルーツを持つ子どもたちの初診状況
～日本人児童との比較から～. The 11th Congress of The Asian Society for Child and Adolescent
Psychiatry, Kyoto, 2023.

外国つながり児と日本人児童の初診比較(2)

・主診断名



- ・ 主病名:外国つながり児も日本人児童もASDが最多
- ・ ASDの割合:外国つながり児より日本人児童が有意に高かった($p > 0.5$)。
- ・ 外国つながり児の主病名:ASD、ADHD、知的発達症、コミュニケーション症群の順であった。

子どもの初期言語発達

- ・ 前言語段階を含む初期言語発達は、各言語共通
- ・ 1歳前からジェスチャー：チョーダイ、指差し
- ・ それに続いて、初語：パパ、ママなど名詞を発語
- ・ 1歳半～2歳に語彙スパート(50語以上)、2語文表出

バイリンガルの言語発達(1)

- ・ **バイリンガル: 2言語環境で日常生活をしている人**
(フランス・グロージャン; 1992)
- ・ 2言語の分化: 2、3歳頃から、4歳になると明確に分けて使用
- ・ コード・ミキシング: 2言語の分化が十分でない状態で出現
- ・ プロフィール効果: 環境で使用語彙がL1(母語)、L2(現地語)で偏り、その結果、各言語の語彙が少ない → **語彙評価は両言語を合計して**
- ・ コード・スイッチング(切り替え): 人、状況等でL1、L2使い分け
→ **高度なコミュニケーション能力を示す行動**
- ・ 沈黙期: 継起バイリンガルでL2使用前に沈黙期(6か月以内)を経て、少しずつ自己表現を始める現象で、4～10歳に多い。
→ **選択性緘黙と間違えないこと。**
- ・ トランスファー(転移): 良くも悪くもL1の影響がL2にも表れること

バイリンガルの言語発達(2)

- 生活言語能力(BICS)と学習言語能力(CALP)(ジム・カミンズ)

- 生活言語能力: 基礎的な日常会話力、2年程度で習得
- 基礎的な学習言語能力(弁別的言語能力): 仮名、単文の読み書き、2年程度で習得
- 教科学習言語能力: 教科学習に必要な読み書きも含めた言語能力、モノリンガルレベルには、能力が高くて5~7年は要す。

- 母語と現地語の相互作用

母語(L1)がしっかり育ってからが現地語(L2)加わると、両言語共伸びやすい(加算的バイリンガル)。L1が育っていないと、現地の主要言語しかできないようになりやすい(減算的バイリンガル)。

- 日本語力は在留年齢、母語保持率は入国年齢(中島和子)

バイリンガルの言語発達(3)

- ・バイリンガルの言語・認知発達

定型発達児:モノリンガルと比較し言語、コミュニケーション、知能の発達において有害な結果をもたらすことはない。加えて、自己統制等の発達を促進する可能性を指摘する研究が多い。

- ・親へのアドバイス

- 一貫性: 同じ言語でコミュニケーション(1人1言語)
 - 親とは母語、園・学校では先生とは日本語
- 親は母語でコミュニケーション(安定した親子関係など)
- 子どもの発達水準に合わせた話し方、肯定的話し方
 - 母親語(マザリース)、さりげない訂正(リキャスト)
- L2を強制しない、L1の発達はL2の学習も助ける。

発達障がい児などの多言語使用

・肯定的

- 言語症(発達性言語障がい)、自閉症、ダウン症候群:モノリンガル、バイリンガルの何れでも言語発達は変わらず(モノリンガルが良いという仮説は否定)、むしろ複数群が優れている領域もある(語彙数、思考の柔軟性、適応力等)。親もL1の使用に肯定的、家族やコミュニティとの交流にも重要。しかし、**専門家等は社会の主要言語のみ勧める傾向あり。**

* Hastedt I. et al(2023): Bilingual and Monolingual Autistic Toddlers: Language and Social Communication Skills. Journal of autism and Developmental Disorders, 53, 2185-2202.

ご清聴、ありがとうございました。
～私の前に道はない～

